

令和8年5月吉日



協議会だより

足立区立第十二中学校

開かれた学校づくり協議会

会長 井門 明洋



令和8年度開かれた学校づくり協議会は、各自治会長、同窓会、校長、副校長、PTA 顧問、PTA など29名の委員で活動を行います。5月7日に第1回開かれた学校づくり協議会を開催し、今年度の活動方針を決めました。

1 開会の言葉

2 委員委嘱 教育委員会挨拶 足立区教育委員会 青少年課 学校地域連携担当 三ヶ島 誠次男 様

三ヶ島様より、委員の代表として井門会長に委員委嘱状をお渡し頂きました。

（期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日 まで）

主にコミュニティ・スクール（CS）の制度内容、導入の必要性、実務的なメリットについてご説明を頂きました。

（制度の権限、足立区独自の形態、導入の起源と予算等）

3 校長挨拶・趣旨説明 原田 正伸 校長

この4月より荒川区の教育委員会より足立区立第十二中学校の校長に任命を拝しました原田正伸と申します。昨年度までは子供がいない状況下で仕事をさせていただいておりましたが、この4月から十二中生の姿を見ながら仕事ができるという喜びを感じながら、子供たちのためにより一層力を尽くしていきたいと決意しているところでございます。本日は開かれた学校協議会におきましてはご意見いただきながら、子供たちにとってためになる活動をしていきたいと思っております。今年一年様々な場面でお力をお借りすると思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 会長挨拶 井門 明洋 会長

去年一昨年から引き続きまして、会長を務めさせていただくことになりました。

開かれた学校づくり協議会としては、PTA ならびに学校と協力し合って子供たちにいい環境を作っていきたいと思っています。子供たちが楽しく学校に登校できるような環境にしたいと思っておりますので、ご協力の方よろしくお願いいたします。

以上です。

5 議題

(1)学校経営方針、R8学校評価を受けて 原田 正伸 校長

校長先生より「令和8年度 学校経営方針」に基づき、めざす学校像、学校の現状、令和8年度の重点目標などについてご説明を頂きました。

※「令和8年度 学校経営方針」を資料として配布。

(2)年間活動計画 井門 明洋 会長

次第記載内容に基づき、今後の会議予定を説明頂きました。

- 5月 7日(木) 19:00 開かれた学校づくり協議会
- 6月12日(金) 19:00 開かれた学校づくり協議会
- 10月 3日(土) 15:00 教員との交流会(学校説明会后)
- 11月26日(木) 19:00 開かれた学校作り協議会
- 11月28日(土) 校内清掃活動
- 12月21日(土) 12月22日(火) 3年面接練習 面接官
- 2月12日(金) 19:00 開かれた学校づくり協議会

(3)予算について 金澤 孝之 副校長

予算30万円に増え、予算立ては私と副校長補佐で行い上限30万円で申請します

※質問: 予算書、決算書を過去同様準備頂きたい

回答: 次回予算書、決算書を提出します

(4)その他

ご質問に対し、副校長先生より今年度の自己評価書の作成についてのスケジュールをお答えいただきました。

6 部会

◇評価部会: 先ほど副校長先生に確認させて頂いた通り、同様のスケジュールで部会を開催し、協議会でご報告させて頂く形で進めさせていただきます。

◇家庭教育部会: 委員の皆さまも、都合が付きましたら参加の程、よろしくお願いします。

基本的に毎月第3水曜日に(10月は第1水曜日)7:50~8:20で活動予定。

◇土曜事業部会: 今年度は33名の受講生が登録されております。ボランティアの方が、現在10名在籍となっているが来年度は減数見込みのため、募集をかけていきたいと思っております。第一回目のサタデースクールは5月16日(土)から計31回を予定しております。

◇広報部会: 例年通り、「協議会だより」を年に3~4回発行いたします。

(新規加入の方: 評価部会 青木委員 家庭教育部会 大喜委員 土曜事業部会 高畑委員)

7 情報・意見交換

各部会の役割決め等意見交換

8 コミュニティ・スクールについて(足立区教育委員会より)

コミュニティ・スクール導入の目的、仕組みについて説明。

開かれた学校づくり協議会との関係について説明。

現在、CS導入率13%を、40%達成を目指すための3か年計画説明

※質問: 開かれを母体としたCS活動について、地域に根差した活動等本質的な部分をどう擦り合わせていくのか難しい問題だと感じている

※質問: 避難所開設について、中学生をどう関わらせていくのか、いきなりスタートではなく助走が必要と感じている。

※質問: そもそもCSは子供たちのためになるのか、メリットは何なのか。

※質問: 十二中としてCSをどのように捉えているのか

今後の進め方は少人数で取りまとめ次回に繋げていく方針で進める事とする。

9 閉会の言葉 今坂 昭男 委員

今日はお忙しい中ありがとうございました。各部会や CS など充実した検討ができたと思います。これを元に学校支援を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。